

基本・設定・運用編

ネットワークアクセス編は別紙取扱説明書をご覧ください。



取 扱 説 明 書

最新更新日：2018年1月

第1版

防犯カメラ・デジタルHDDレコーダー【アナログ（AHD・TVI・CVI）カメラ・ネットワークカメラ録画】

型番	アナログCVBS仕様	4CHタイプ：ES-XVR304A	8CHタイプ：ES-XVR308A
	AHD(CVI,TVI含)仕様	4CHタイプ：ES-XVR304P	8CHタイプ：ES-XVR308P
	ネットワーク仕様	4CHタイプ：ES-XVR304N	8CHタイプ：ES-XVR308N



ネットワークアクセス方法の説明は本紙では除外しております。

別紙「ネットワークアクセス編」をご覧ください。

入手方法ですが弊社へお問合せください。



電源を切るときは必ずこの操作を行ってください。

ライブ映像状態で本機前面ボタン「MENU」をクリックし、一番右の「ログアウト」→「電源を切る」、そして後面のアダプタ接続を抜いてください（電源スイッチがある場合はスイッチを切ってください）。

【P33】-「@ログアウト」を参照してください。

この操作を行わず電源を切りますと、次回起動時にHDDが認識しない場合があります。

この場合の不具合は保障対象外ですので予めご了承ください。

このたびは、当社製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

当取扱説明書をよくお読み頂き、正しく安全にご使用ください。

特に、取扱説明書内に記載しております電気安全事項は遵守していただきますよう、お願い申し上げます。

尚、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

目 次

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）	8
2. 免責事項	8
3. 同梱付属品	8
4. 用語の説明	10
5. 初期設定について	12
6. チャンネルモードについて	12
7. 前面パネルの各部名称（全機種共通）	16
8. 後面パネルの各部名称	17
① ES-XVR304A , ES-XVR304P , ES-XVR304N	17
② ES-XVR308A , ES-XVR308P , ES-XVR308N	18
9. 全体の配線・接続例	20
① 全体配線図	20
1) アナログCVBS・AHD(CVT,TVI含む)カメラの場合	20
2) ネットワークカメラの場合	21
② 電源の接続・固定方法	21
10. ハードディスクについて	23
11. 本機起動からライブ映像が表示されるまで（出荷・再起動直後の場合）	25
12. デジタルチャンネルモード（ネットワークカメラ）のライブ映像表示方法	27
13. ライブ映像画面の説明	30
14. ポップアップメニューの説明	31
① メニュー	31
② 録画モード	31
③ 録画再生	32
④ バックアップ	32
⑤ PTZコントロール	32
⑥ プレビューシグナル	32
⑦ 色彩調整	32
⑧ ガイド	32
⑨ 表示調整	32
⑩ チャンネルモード	32
⑪ 遠隔装置	32
⑫ ログアウト	33
⑬ 全画面表示	33
⑭ 4画面表示	33
15. 録画映像再生方法	35

16. 録画映像バックアップ方法	39
17. メニューの説明	45
①録画設定	46
1) スケジュール	46
2) 録画再生	47
3) バックアップ	47
②アラーム	48
1) モーション設定	48
2) 映像遮蔽	48
3) 信号ロス	49
4) アラーム入力	49
5) 警報出力	49
6) HDD異常表示	49
③システム	50
1) 基本設定	50
2) 録画画質	51
3) ネットワーク	54
4) メール設定	54
5) 画質設定	54
6) PTZ設定	56
7) シリアルポート	56
8) ループ表示	56
9) チャンネル管理	57
④管理ツール	58
1) ハードディスク	58
2) アカウント	58
3) オンライン	58
4) 表示調整	59
5) 自動保全	59
6) 初期値	59
7) アップグレード	59
8) 外部機器	59
9) 輸出入	59
⑤情報	60
1) ハードディスク情報	60
2) データ転送速度	60
3) ログ情報	60
4) バージョン	60
⑥ログアウト	60
18. 録画時間	62
① アナログCVBSカメラの場合	62
② AHDカメラ(CVI,TVI含)の場合	63
③ ネットワークカメラの場合	64
19. モーション設定録画（動体検知録画）設定方法	66

20. Q & A	69
① 停電等、突発的な電源遮断後に再起動したらHDDが認識しなくなった。	69
② カメラ増設などをしたらHDDが認識しなくなった。	69
③ 現在時刻が合わなくなってきた。	69
④ 本機をパソコンと接続してパソコンから操作したい。	69
⑤ 本機をインターネット経由で出先から操作・監視したい。	69
⑥ USBメモリが認識しない。	70
⑦ カメラ映像のタイトルや時計表示が欠ける。	70
⑧ ログインパスワードがわからなくなった場合。	70
⑨ 本機稼働時に誤ってコンセントを抜いて（他突発停電などで電源が切れる）しまい…… 起動しなくなった。	70
⑩ 本機起動直後、真っ暗な画面になり、進まなくなった。	70
21. 機器仕様	72
22. アフターサービスについて	73

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）



警告事項

- ① 設置工事は電源工が必要な場合もあります事から、工事業者が行ってください。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源（コンセントを抜く等）を遮断して触れないようにしてください。放って置きますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないでください。機器内部に人体が触れますと感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気・振動の多い場所に置かないでください。
- ⑤ 濡れた手で触れないでください。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 不安定・転倒の恐れがある場所へは設置しないでください。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止してください。また配線の一切に触れないでください。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けてください。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んでください。また定期的にプラグの清掃をお願い致します。
- ⑩ 本機は放熱対策でスリットが多く設けてあります。放熱の妨げになるような場所へは設置しないでください。
- ⑪ 静電気には十分気を付けてください。特に冬季は故障の可能性が高くなる要因になります。



禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ず A C 1 0 0 V を接続してください。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給してください。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用してください。感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守してください。
- ⑤ ハードディスク内蔵製品の為、震動・衝撃を与えないでください。

2. 免責事項

何らかの原因で機器に異常が見られ、その異常に伴い記録内容が消去・破壊されてしまう場合があります。この場合の損失・損害に等に関しては免責とさせていただきます。また、この場合の記録内容の復旧・復元は行っておりませんので併せてご了承ください。

3. 同梱付属品

① 本機	1 台	
② レコーダー操作用光学マウス	1 台	
③ HDMIケーブル1.5m	1 本	※ VGAケーブルは別売り
④ ACアダプタ(DC12V)	1 台	※下記注意事項参照。
⑥ ハードディスク固定ネジ	4 本	※HDD組込済の場合、内部取付済
⑦ HDD	1 台	※容量は録画モードにより容量異なる。
⑧ マウントベース	1 個	アダプタケーブル抜止対策
⑨ インシュロックタイ	1 本	
⑩ 日本語説明書（本書）	1 冊	
⑪ 製品保証書	1 通	

●ACアダプタ(DC12V)について

当アダプタは商品内容により異なります。

- 1) レコーダー単体の場合は同梱アダプタ 1 台でレコーダーに接続。
- 2) 防犯カメラ+レコーダーセット商品（カメラ 1 台～ 4 台）の場合は、
 - ・ レコーダー本体分でアダプタ 1 台
 - ・ カメラ分でアダプタ 1 台（付属の分岐ケーブルでカメラ 4 台まで接続可能）
 - ・ 合計 2 台のアダプタ同梱
- 3) 防犯カメラ+レコーダーセット商品（カメラ 5 台～ 8 台）の場合は、
 - ・ レコーダー本体分でアダプタ 1 台
 - ・ カメラ分（ 1 台～ 4 台分）でアダプタ 1 台
（付属の分岐ケーブルでカメラ 4 台まで接続可能）
 - ・ カメラ分（ 5 台～ 8 台分）でアダプタ 1 台
（付属の分岐ケーブルでカメラ 4 台まで接続可能）
 - ・ 合計 3 台のアダプタ同梱

以上のようなアダプタの構成になります。

4. 用語の説明

本機は3種類のカメラを録画・モニタリングすることが可能です。
カメラ仕様によりレコーダー機能を使い分けるため、専門用語が多く出てきますので、
本項で説明します。

本機では （アナログチャンネル）	① アナログCVBS カメラ	： 家庭用のDVDやビデオなどの信号と同じ信号で、画素数は41～52万画素前後が主流です。 本書はアナログCVBSカメラと明記しています。 本機上では「960H」という名称・表記になります。
	② AHDカメラ （CVI,TVI含む）	： 正式名称はAnalog High Definition camera。 上記同様ですがAHDカメラは92～200万画素帯の超高解像度を実現したカメラです。 本書ではAHDカメラと明記しています。 本機上では、 ・ 100万画素カメラ → 720P ・ 200万画素カメラ → 1080P という名称・表記になります。
本機では （デジタルチャンネル）	③ ネットワーク カメラ （IPカメラ）	： ①②とは異なり、カメラをネットワーク機器同様に扱いIPアドレスを割り当ててパソコンなどから監視・操作します。 AHDカメラと同じく130～500万画素帯の超高解像度を実現したカメラです。 本書ではネットワークカメラと明記しています。 ・ 130万画素カメラ → 960P ・ 200万画素カメラ → 1080P ・ 300万画素カメラ → 3M ・ 500万画素カメラ → 5M → ES-XVR304 → ES-XVR308 という名称・表記になります。

5. 初期設定について

お客様がすぐにお使い頂けるよう、弊社で以下のような初期設定を行って出荷しております。
 万が一、【P59】-「④管理ツール-6)初期値」で本機を初期化した場合は当然設定もすべて消去されます。
 もし、設定初期化されてしまった場合は当社へお問合せください。
 初期設定データをお送り致しますので【P59】-「④管理ツール-9)輸出入」で、設定のアップロードを行ってください。

6. チャンネルモードについて

本機は1台で以下カメラを録画する事が出来ます。

- ・ アナログCVBSカメラ
- ・ AHD (CVI, TVIカメラ含む) カメラ
- ・ ネットワークカメラ (IPカメラ)



**この設定は、お客様がお買い上げ時の目的に従って初期設定されております。
 従って、通常は触れない設定になります。**

ポイント

▼本機に接続出来るカメラと台数の表

・ ES-XVR304A, ES-XVR304P, ES-XVR304Nの場合

設定	アナログチャンネル				デジタルチャンネル				一斉再生 チャンネル数	備考
カメラ	アナログCVBS AHDカメラ(CVI,TVI含)				ネットワークカメラ (IPカメラ)					
画素数	1080P	1080N	720P	D1	3M	1080P	960P	D1		
	200万	100万	100万	35万	300万	200万	100万	35万		
カメラ 台数	4								2	
		4							4	通常は使用しない
	2					2			2	MIX録画可
						4			4	
						8			4	
					4				2	

・ ES-XVR308A, ES-XVR308P, ES-XVR308Nの場合

設定	アナログチャンネル				デジタルチャンネル					一斉再生 チャンネル数	備考
カメラ	アナログCVBS AHDカメラ(CVI,TVI含)				ネットワークカメラ (IPカメラ)						
画素数	1080P 200万	1080N 100万	720P 100万	D1 35万	5M 300万	3M 300万	1080P 200万	960P 100万	D1 35万		
カメラ 台数	8									4	
		8								8	通常は使用しない
	4						4			2	MIX録画可
		4					4			2	通常は使用しない
							8			4	
						4				4	
					4					2	

▼ 接続するカメラを設定する画面「チャンネルモード」



① アナログチャンネル

- ・ 52万画素帯（960H）のアナログCVBSカメラ
- ・ 100万（720P）、200万（1080P）画素帯のAHDカメラ

を接続・使用する事が可能です。

上記に記載されていない画素数も映像表示・録画は可能ですが、上記に近い画素数に本機が解釈を行います（**上限値はアナログCVBSは52万画素、AHDは200万画素までです**）。

例えば、「30万画素のアナログCVBSカメラ」を本機に接続した場合は、「52万画素帯（960H）のアナログCVBSカメラ」と認識しますが、接続したカメラからの映像出力は30万画素でしかありませんので、映像表示も録画映像も30万画素のままになります。
アナログCVBSカメラ、AHDカメラ用途でご購入されたお客様へ対しては、

アナログチャンネル：1080P

前ページ設定画面の「設定A」

で設定を行っております。

② デジタルチャンネル

- ・ 130万（960P）、200万（1080P）、300万（3M）画素帯のネットワークカメラ（IPカメラ）

を接続・使用する事が可能です。

上記に記載されていない画素数も映像表示・録画は可能ですが、上記に近い画素数に本機が解釈を行います（**上限値は3Mまでです**）。

ネットワークカメラ（IPカメラ）用途でご購入されたお客様へ対しては、

デジタルチャンネル：1080P

前ページ設定画面の「設定B」

で設定を行っております。

③ その他「ミックス設定」

上記の①②を両方使用出来るように設定を行うことが出来ます。
この場合は、前ページ設定画面の「設定C」を行います。
「設定C」はこの設定画面ですと、

アナログチャンネルカメラ = 2 台
デジタルチャンネルカメラ = 2 台

接続・使用が可能なことを示します。
当然、機種によりこの数字は変わります。

7. 前面パネルの各部名称（全機種共通）



↑
前面部全体

←操作部周辺拡大

※基本的にはすべてマウスで操作します。

① IR	リモコンの受信部になりますが本機にはリモコンは付属しておりませんので未使用になります。
② Power	電源DC12Vが供給されている時点で青色に点灯します。
③ Record	録画停止→消灯、録画中→赤点灯
④ Alarm	モーション設定、映像遮蔽、信号ロス設定が作動した場合、赤く点灯します。
⑤ MENU	メニュー画面を表示します。
⑥ ESC	メニュー表示画面で1つ前のメニュー画面に戻ります。
⑦ 十字キー	メニュー画面などで、カーソルを移動させます。
⑧ OK	メニュー画面での確定で使用します。
⑨ USBポート	操作用のマウス、USBメモリなどの外部メディアを接続します。

8. 後面パネルの各部名称

① ES-XVR304A , ES-XVR304P , ES-XVR304N



①	VIDEO IN 【BNCメス】	カメラからの映像入力になります。カメラ 4 台まで接続することができます。 アナログチャンネルモードの場合は、アナログ・AHDカメラを接続します。【本機端子：BNCメス】 ネットワークカメラ（IPカメラ）の場合は使用しません。
②	V-OUT 【BNCメス】	アナログコンポジット信号（ビデオ信号）出力です。 但し出力解像度は35万画素の低解像度の為、現行市場に出ている一般ご家庭用テレビも含めて接続すると、かなり不鮮明な映像の為、普段の運用ではお勧め出来ません。 従ってテスト用などにとどめ、通常運用は下記③か④で行ってください。 尚、この接続ケーブルは別売りです。
	A-OUT 【RCAメス】	音声出力です。⑤に接続されている音声で、 ライブ映像表示時：【P30】の音声出力マークが点灯している場合。 録画映像再生時：音声が録音されているチャンネルが選択されているとき。 の条件で音声を確認する事が出来ます。 尚、このケーブルはお客様にてご調達ください。
③	HD-OUT 【HDMIメス】	HDMIのモニター出力です。HDMI入力端子付きであればご家庭用TVでも接続可能です。 通常130万画素（推奨）、最大200万画素出力です。
④	VGA 【D-sub15pinメス】	VGAのモニター出力です。VGA入力端子付きであればパソコンモニターでも接続可能です。 通常130万画素（推奨）、最大200万画素出力です。
⑤	音声入力 【RCAメス】	カメラから出力されている音声ケーブルを接続し、音声を映像とリンクして録音します。 カメラ 4 台分録音出来ます。
⑥	LAN 【RJ-45メス】	LANケーブルを接続、HUB・パソコン・ルーターなどと接続し本機をパソコンから操作します。 デジタルチャンネルモードの場合、ネットワークカメラはHUB経由でここに接続します。
⑦	USBポート	USBメモリまたはUSBマウスを接続します。
⑧	RS485	使用しません。
⑨	DC-12V	付属の電源アダプタを接続します。【本機端子：丸型ジャック・外形5.5mm-内径2.1mm】
⑩	グランドアース	電気取扱安全上、接地を行ってください。Y/O端子で接続、ケーブルφ1.2mm以上。

② ES-XVR308A , ES-XVR308P , ES-XVR308N

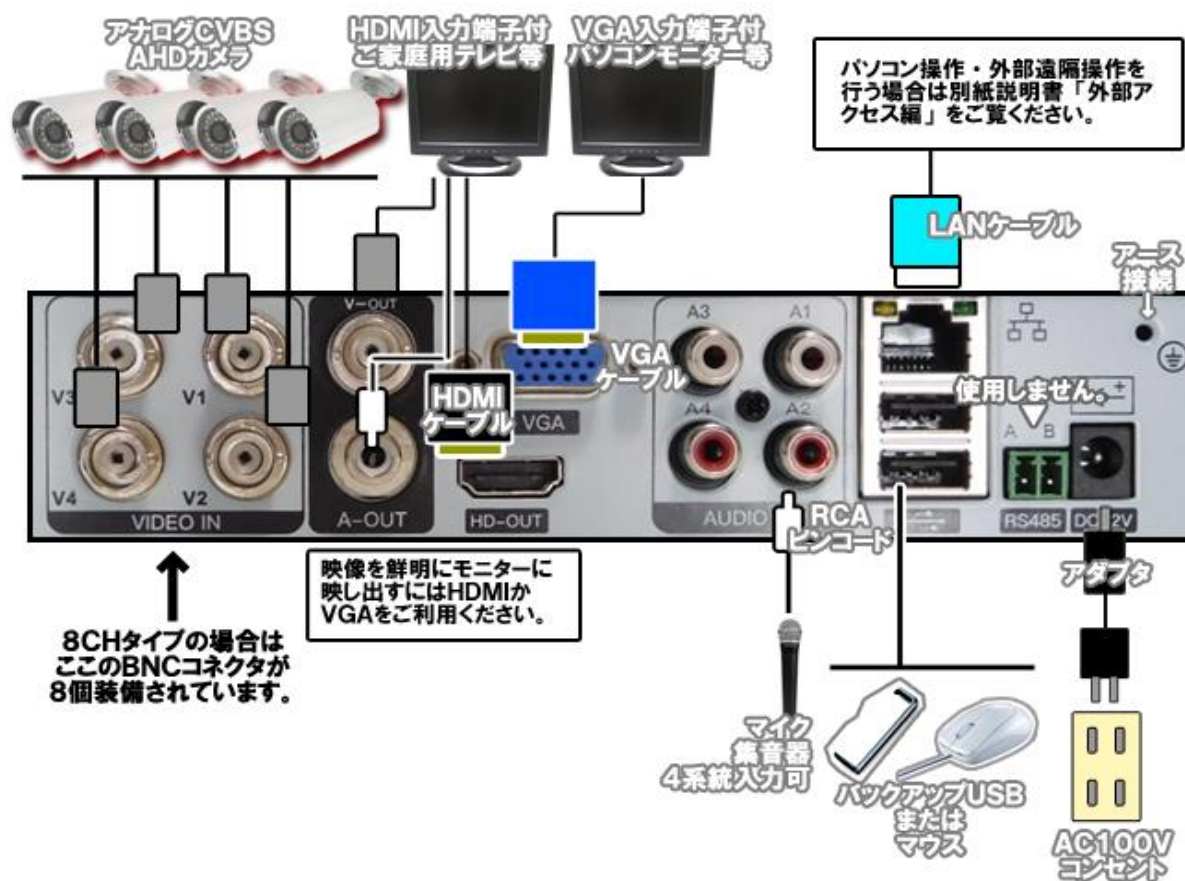


①	VIDEO IN 【BNCメス】	カメラからの映像入力になります。カメラ 4 台まで接続することができます。 アナログチャンネルモードの場合は、アナログ・AHDカメラを接続します。【本機端子：BNCメス】 ネットワークカメラ（IPカメラ）の場合は使用しません。
②	V-OUT 【BNCメス】	アナログコンポジット信号（ビデオ信号）出力です。 但し出力解像度は35万画素の低解像度の為、現行市場に出ている一般ご家庭用テレビも含めて接続すると、かなり不鮮明な映像の為、普段の運用ではお勧め出来ません。 従ってテスト用などにとどめ、通常運用は下記③か④で行ってください。 尚、この接続ケーブルは別売りです。
	A-OUT 【RCAメス】	音声出力です。⑤に接続されている音声で、 ライブ映像表示時：【P30】の音声出力マークが点灯している場合。 録画映像再生時：音声録音されているチャンネルが選択されているとき。 の条件で音声を確認する事が出来ます。 尚、このケーブルはお客様にてご調達ください。
③	HD-OUT 【HDMIメス】	HDMIのモニター出力です。HDMI入力端子付きであればご家庭用TVでも接続可能です。 通常130万画素（推奨）、最大200万画素出力です。
④	VGA 【D-sub15pinメス】	VGAのモニター出力です。VGA入力端子付きであればパソコンモニターでも接続可能です。 通常130万画素（推奨）、最大200万画素出力です。
⑤	音声入力 【RCAメス】	カメラから出力されている音声ケーブルを接続し、音声を映像とリンクして録音します。 カメラ 4 台分録音出来ます。
⑥	LAN 【RJ-45メス】	LANケーブルを接続、HUB・パソコン・ルーターなどと接続し本機をパソコンから操作します。 デジタルチャンネルモードの場合、ネットワークカメラはHUB経由でここに接続します。
⑦	USBポート	USBメモリまたはUSBマウスを接続します。
⑧	RS485	使用しません。
⑨	DC-12V	付属の電源アダプタを接続します。【本機端子：丸型ジャック・外形5.5mm-内径2.1mm】
⑩	グランドアース	電気取扱安全上、接地を行ってください。Y/O端子で接続、ケーブルφ1.2mm以上。

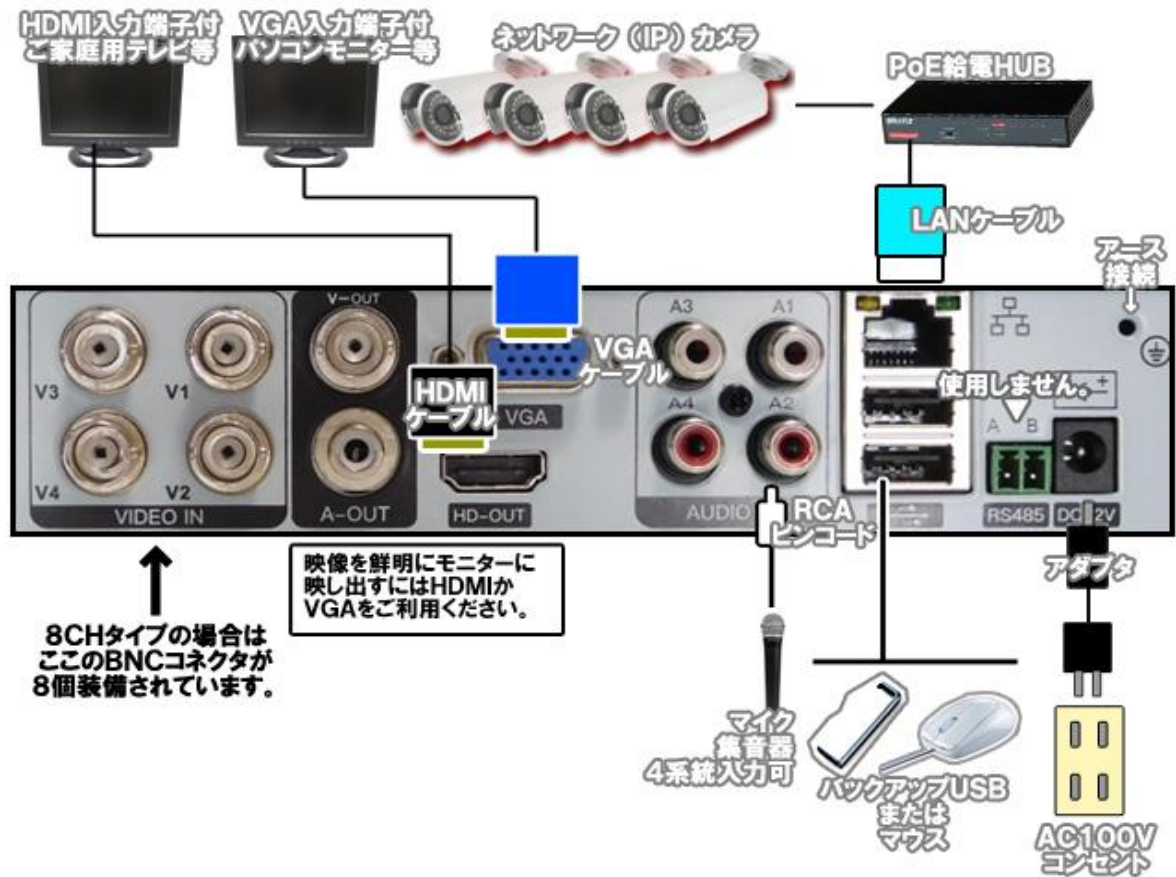
9. 全体の配線・接続例

① 全体配線図

1) アナログCVBS・AHD(CVT,TVI含む)カメラの場合



2) ネットワークカメラの場合



② 電源の接続・固定方法

●電源の接続・固定方法

本機への電源供給はアダプタのプラグを本機へ接続します。
アダプタのプラグが抜ける場合がありますので下記のように同梱のマウントベースとインシュロックタイ
を使用して抜止めをしてください。

マウントベースは強力両面テープ付です。

【本機後面・電源スイッチがない場合】



10. ハードディスクについて

ハードディスクは消耗品です。当社では次のような交換サイクルを推奨しています。

- ① 使用時間（録画時間）が概ね20000時間（約2年半弱目安）を経過した場合。
- ② 上記使用時間を経過しなくても、ハードディスクを内蔵して運用後、4年を経過した場合。



推奨交換時期を過ぎますと、ハードディスクに関する異常が発生する可能性が高くなり、その結果録画された内容が消失してしまうなどの恐れがあります。

ご注意



ハードディスク交換は、電気の知識がある専門技術者が行うようにしてください。従って、不具合時またはハードディスク交換作業は弊社にご依頼ください。

ご注意

※ 参考 USBメモリについて

本機へのポータブルメモリ接続に関しましてはUSBメモリを推奨致します。

また互換性USBメモリとですが、無作為に認証・試験を行った結果、障害があると思われる症状（認識しない等）は認められませんでした。

従いまして、メーカー・容量が多岐に渡る為、推奨USBメモリの具体的なメーカー名・容量・仕様等の特定する明記は控えさせて頂いております。

しかしながら、お客様がご調達されたUSBメモリが認識しない等の障害が見られた場合、当社は免責とさせて頂きたく存じます。

予めご了承ください。

11. 本機起動からライブ映像が表示されるまで（出荷・再起動直後の場合）

本機の電源を接続してライブ映像が表示されるまで、本項①②の2パターンになります。

● 手順1

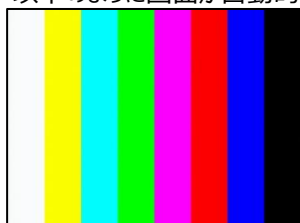
配線接続及び設置工事完了後、AC100Vコンセントと専用アダプタを接続してください。

本体側にコネクタを接続した後、コンセント側を挿し込んでください。

アダプタを本機に接続した時点で本機は起動します。

● 手順2

以下のように画面が自動的に推移します。



→



① カラーバー
タイトル画面
の順に表示されます。



② アナログチャンネルモード
の場合で、
・ アナログCVBSカメラ
・ AHDカメラ
が接続されている状態であれば
左写真の状態になります。
|
8CHタイプ(ES-XVR308)の
場合はこの時点で9分割画面の
8分割がライブ映像表示部分です。
(9分割目は映像のデータ量表示
になります)



左写真の右下チャンネルの
「XVR」と表示されている状態は
カメラが接続されていない状態
(無信号状態)を示します。

デジタルチャンネルモードの場合の起動直後の画面



この状態の場合は、
デジタルチャンネルモード
の場合で、

- ・ ネットワークカメラ
(IPカメラ)

が接続されている状態を
示しますが、ネットワークカメラ
の場合は、更にカメラ側との
紐付け設定を行う為、
出荷起動直後は映像は表示
されません。

【P27】-

「12. デジタルチャンネルモード
(ネットワークカメラ) のライブ映
像表示方法」
で設定が必要です。

12. デジタルチャンネルモード（ネットワークカメラ）のライブ映像表示方法

ネットワークカメラの場合は、カメラをハブ経由（1台の場合は直接でも可）で接続後、ライブ映像として表示させる設定が必要です。

その前に事前準備・確認があります。

本機のIPアドレスは

192.168.1.18

本機初期設定はDHCPですのでルーターに接続した場合はIPは変動します
その場合は【P54】-「③システム-3)ネットワーク」で確認してください。

ですので、カメラ側のIPアドレスも

192.168.1

まではすべて同一にしておく必要があります。

IPアドレス設定例としては

・ 本機レコーダー	192.168.1.18
・ カメラ1	192.168.1.101
・ カメラ2	192.168.1.102
・ カメラ3	192.168.1.103
・ カメラ4	192.168.1.104

右から1区画目の数字は
強制ではありませんが、お概ね
101～250までの間で決めてください。

というようにIPアドレスを設定します。

カメラ側のIPアドレスの設定はカメラの取扱説明書をご覧ください。

そして【P21】-「全体配線図」の場合

のように既に本機へ接続されている状態にします。

それでは本機の設定に入ります。

【P26】-「デジタルチャンネルモードの場合の起動直後の画面」で、右クリックをするとポップアップメニューが表示されます。

この中で、「遠隔装置」にマウスカーソルを合わせて「手動で追加」をクリックします。

すると下記写真の画面が表示されます。



この表示例では2台のネットワークカメラが本機に接続され、正常に認識されてると、自動的に[A]にリストとして表示されます。

次に[B]のチェックボックスに、本機に映像として反映させるカメラをクリックしてチェックを付与します。
そして「追加」をクリックすると、[C]に追加したカメラが表示されます。
この時、並べたい順番を考慮します。

▼4CHレコーダーの場合

1	2
3	4

▼8CHレコーダーの場合

1	2	3
4	5	6
7	8	-

左の図をご覧ください。
ライブ映像の分割画面の場合のカメラの順番を示した表です。

例えば[B]で1番初めにチェックボックスを付与したカメラが、左の表の「1」の枠に入ります。
以下、順番に入ります。

このようにしてカメラの配置を決めていきます。

そして最後に「OK」をクリックすると、ライブ映像に戻り、ライブ映像が表示されます。



ご注意

各映像枠内の左上に  が表示されていた場合、そのネットワークカメラは相性などの理由により、本機では認識しない事を示します。

13. ライブ映像画面の説明

- 接続カメラ種別【P10】参照
現在そのチャンネルに接続されているカメラの解像度を表示しています。

- ポップアップメニュー
マウス右クリックか本機前面の「MENU」を押すと表示されます。

- 現在日時表示
設定・調整は【P50】-「基本設定」参照。
消去・移動は出来ません。



- チャンネル状態表示
このチャンネルが今どのような状態かを下記のように示します。

- チャンネル名称
 - ・ 位置変更は出来ません。
 - ・ 名称変更は【P54】「5)画質設定」にて変更が可能です。

	録画モード	この表示は、そのチャンネルに接続してあるカメラを自動認識する設定状態です。これをクリックしていくと「TVI」→「AHD」→「CVI」というように推移します。通常は自動認識で映像は表示されますが、映像が正常に表示されない場合はこれを適正なモードに設定してください。
	録画中	このマークが表示されている時は「録画中」、表示されていない時は「録画停止」を示します。モーション録画の場合は、モーション検知されたときのみ録画されますので、モーション検知時のみこのマークは表示される事になります。
	音声ON/OFF	音声が入力されている場合、モニターやスピーカーに接続してある音声をこの設定でON/OFFする事が可能です。このマークを直接クリックするとON/OFFが切り替えられます。またON状態は1チャンネルのみ可能です。
	モーション検知	映像上に何か動きがあり且つ、モーション設定を行っていた場合表示します。設定方法は【P66】をご覧ください。
	カメラ認識なし	デジタルチャンネルモードでネットワークカメラと本機のIPアドレス紐付け設定が未設定の場合表示されています。設定方法は【P27】-「12. デジタルチャンネルモード（ネットワークカメラ）のライブ映像表示方法」をご覧ください。
	カメラ接続遮断	デジタルチャンネルモードでネットワークカメラと本機のIPアドレス紐付け設定が設定されているのにもかかわらず、カメラの接続が認識出来ない場合に表示されます。
	ネットワークカメラ認識不可	デジタルチャンネルモードでネットワークカメラと本機のIPアドレス紐付け設定が設定されているのにもかかわらず、この表示が出る場合はそのカメラは相性等の理由で本機では使用出来ません。

14. ポップアップメニューの説明

ライブ画面でマウス右クリックすると以下のメニューがポップアップ表示されます。
設定しているチャンネルモードにより、設定メニューが多少異なります。

▼ アナログチャンネルモード
▼ アナログ・デジタルチャンネルモード



▼ デジタルチャンネルモード



左メニューに比べ、「色彩調整」と「プレビューシグナル」がありません。

① メニュー

メニューは【P45】「17. メニューの説明」よりお読みください。
詳細な設定はすべてここから行います。

② 録画モード

「設定録画」、「常時録画」、「録画しない」の3パターンより設定します。
※ 画面例として4チャンネルレコーダーで説明。



● 設定録画

スケジュール録画、モーション設定録画などアラーム録画を行った録画方法の設定例です。



● 常時録画

強制的・365日24時録画を行なう場合の、録画方法の設定例。
カメラ映像がブランク（入力なし）でも「常時録画」の場合は映像上では「録画中マーク（ビデオテープマーク）」が表示されますが、実際には録画されません。



● 録画しない

カメラが接続されていないチャンネルが3,4だった場合、チャンネル3,4を録画しない設定例。

③ 録画再生

本機ハードディスクに記録された録画映像を閲覧します。
【P35】-「15.録画映像再生方法」をご覧ください。

④ バックアップ

本機ハードディスクに記録された録画映像の一部を外部メモリーに保存します。
【P39】-「録画映像バックアップ方法」をご覧ください。

⑤ PTZコントロール

当社ではPTZカメラは取り扱っておりませんので、サポート外とさせていただきます。

⑥ プレビューシグナル

これは原則「自動」で運用してください。
万が一、映像上で不具合が起きている場合は、適切なシステムのカメラを選択して映像の状況を確認してください。

⑦ 色彩調整

※ デジタルチャンネルモードでは表示されません。
カメラチャンネル毎に色彩調整が可能です。
色彩調整したいカメラ映像を左クリックして本項の「色彩調整」設定に入ります。
メニュー画面右上に「色彩調整:○○」と表示されていて、○○の部分を選択したカメラチャンネルになります。
色彩調整のタイムスケジュールを組む事も可能です。

⑧ ガイド

対話形式で各種設定を行うことが出来ます。
本機は出荷時に初期設定を行っておりますので、上級者の方以外はここでの設定は行わないでください。

⑨ 表示調整

本機から出力されているモニター画面の表示調整を行います。
画面の縮小や色合いなどを調整出来ます。

⑩ チャンネルモード

接続するカメラにより設定を変更します。

本機は出荷時に初期設定を行っておりますので、上級者の方以外はここでの設定は行わないでください。

詳しくは【P12】-「チャンネルモードについて」をご覧ください。

⑪ 遠隔装置

チャンネルモードが「デジタルチャンネル」の場合のみ表示されます。

本機に接続されたネットワークカメラを本機のライブ映像へ反映・紐付けする設定です。

詳しくは【P27】-「12.デジタルチャンネルモード（ネットワークカメラ）のライブ映像表示方法」をご覧ください。

⑫ ログアウト

- ログアウト : ログイン状態からログアウト状態へ移行します。
- 電源OFF : 電源をOFFします。本機の電源を切るときは必ずこの操作を行ってください。
この操作後、モニター映像には「XVR」と表示されています。
前面のLEDランプの「Record」が消灯している状態を確認したら、本機後面の電源を抜いてください。
次回電源投入時は、再びアダプタ電源を本機後面コネクタに挿し込みます。
- 再起動 : 本機を再起動します。

⑬ 全画面表示

分割画面状態の時、ここから選択したチャンネルが単画面で表示されます。

⑭ 4画面／8画面／9画面表示

表示されている多画面数の画面分割画面になります。

- ・ 4CHタイプのES-XVR304シリーズはここでは「4画面表示」が選択できます。
- ・ 8CHタイプのES-XVR308シリーズはここでは「4画面表示」「8画面表示」「9画面表示」が選択できます。

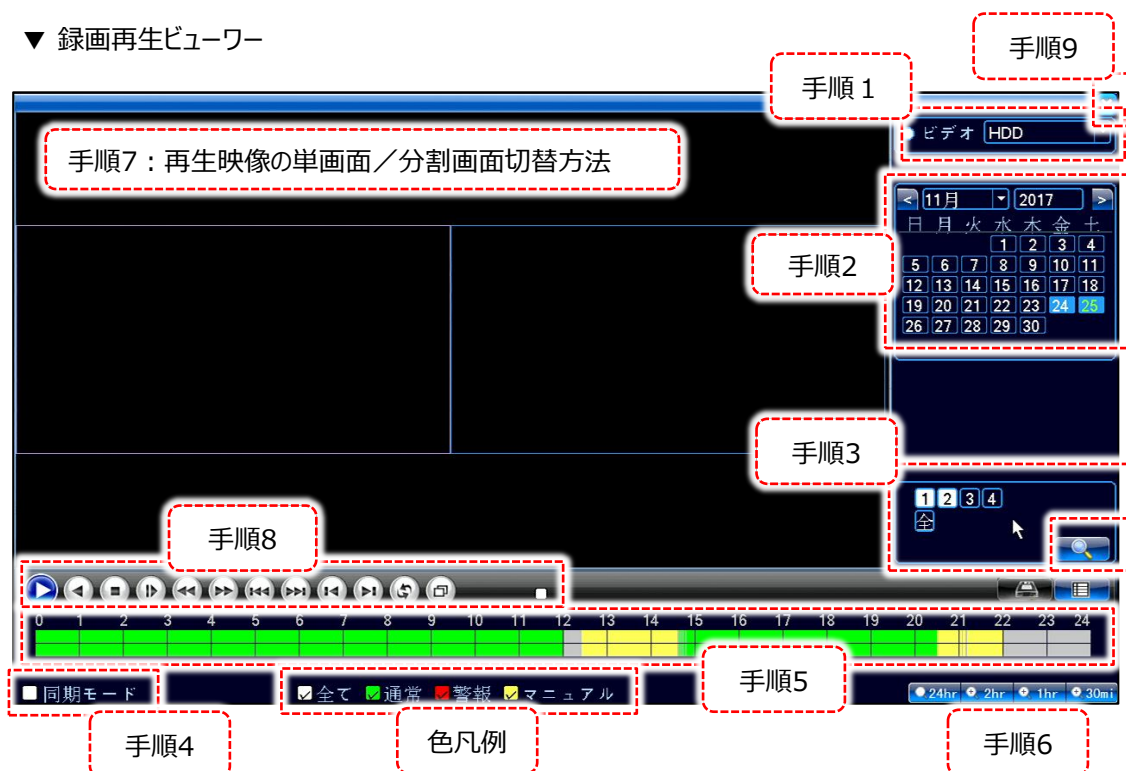
15. 録画映像再生方法

本機に記録された録画映像を再生する方法です。
録画映像再生ビューワーより再生します。

ライブ映像にてマウス右クリックするとポップアップメニューが表示されます。
ポップアップメニューの中の「録画再生」をクリックしてください。

すると下記のような録画映像再生ビューワーが表示されます。
以下手順通りに操作してください。

▼ 録画再生ビューワー



● 手順1

録画データの保管先を指定します。
通所「HDD」を選択してください。
バックアップデータが保管されている外部メモリを本機USBポートに接続している場合は、「バックアップ」を選択してください。

● 手順2

カレンダーより録画映像を再生したい日を選択（クリック）します。

- 左右の矢印をクリックすると、カレンダーの「月」の増減が出来ます。
- 数字が青くなっている日付は録画映像が存在している事を示しています。

● 手順3

録画映像を再生するカメラチャンネルを選択します。
四角の数字をクリックすると選択／解除が出来ます。
一度に再生できるチャンネル数は【P12】-「▼本機に接続出来るカメラと台数の表」をご覧ください。

※ 8CHレコーダーの場合は数字が8まで表示されています。

指定したら虫眼鏡マークをクリックします。

● 手順4

「同期モード」をクリックしてチェックを付与します。
これをチェックする事により、一斉再生の場合、同時時刻の再生（同じ時間の再生）を行う事が出来ます。

● 手順5

録画データがある部分に色が塗られます。
色は「色凡例」のように録画の種類によって色分けされています。
凡例の色の部分をクリックすると、その色を抜いたり追加したり出来ます。

録画再生ビューワ上の色	録画モード【P】	録画用途
緑	設定録画	モーション設定録画などのアラーム録画
黄	常時録画	24時間365日録画

という関係になります。
この中で、見たい時間帯のタイムライン部分をクリックします。
クリックした時点で再生が始まります。

● 手順6

タイムラインは24時間表示になっていますので、見難い場合はタイムレンジを低くするとタイムラインが拡大されます。
さらに詳細の再生時間をクリックすると更に細かく目的の箇所が見つかります。

● 手順7

画面をWクリックすると単画面／多画面を切り替え表示する事が出来ます。

● 手順8

各種ボタンについて説明します。



- ① 録画映像再生を停止します。
- ② 再生中にクリックすると逆送り（等倍）になります。
- ③ 再生を停止します。
- ④ スロー再生になります。クリックを続けると1/2倍、1/4倍、1/8倍、1/16倍とスロー具合が大きくなります。
- ⑤ 再生中にクリックすると、2,4,8,16倍速で逆再生します。
- ⑥ 再生中にクリックすると、2,4,8,16倍速で順再生します。
- ⑦ 使用しません。
- ⑧ 使用しません。
- ⑨ 本機は録画時間は1時間毎のファイル単位でハードディスクに記録格納されています。これをクリックすると、前ファイル最初に戻って再生を開始します。
- ⑩ ⑨同様で、次のファイルの先頭から再生を開始します。
- ⑪ リピート再生機能ですが、通常使用しません。
- ⑫ 右横カレンダーなどの表示を消去して、再生画面を最大限拡大します。
- ⑬ 現在の録画映像の状況を表示します。

● 手順9

録画再生ビューワーを閉じたい場合は画面右上の「×」をクリックしてください。

16. 録画映像バックアップ方法

USBメモリなどの外部メディアにピンポイントで録画映像をバックアップ（データ保存）します。
それをパソコンで閲覧する形式です。
バックアップするファイル形式は一番互換性が高いAVI方式です。

USBメモリに録画映像をダウンロードした後はパソコンに接続し、パソコン上で映像を見る事が出来ます。
パソコンでは「Real Player」というソフトを使用して映像を見る事が出来ます。
無料でダウンロードが出来ますので以下URLよりダウンロードの上、インストールしてください。

<http://jp.real.com/>

※ WindowsMediaPlayerはご利用になれません。

● 手順1

まずUSBメモリを

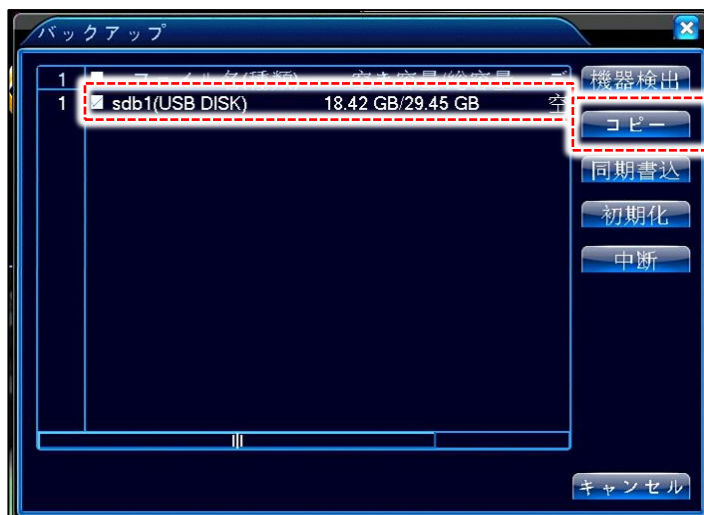
- ・ 本機後面か前面のUSBポートへ挿し込みます。
（USBメモリの中身は予め何も無い状態にしてください）

● 手順2

ライブ映像上でマウス右クリックし、ポップアップメニューの「バックアップ」をクリックします。

● 手順3

以下のようなビューワーが表示されます。



USBメモリが挿し込まれていてそのUSBメモリが正常であれば、赤枠に挿し込んだメモリのデバイス名が表示されます。

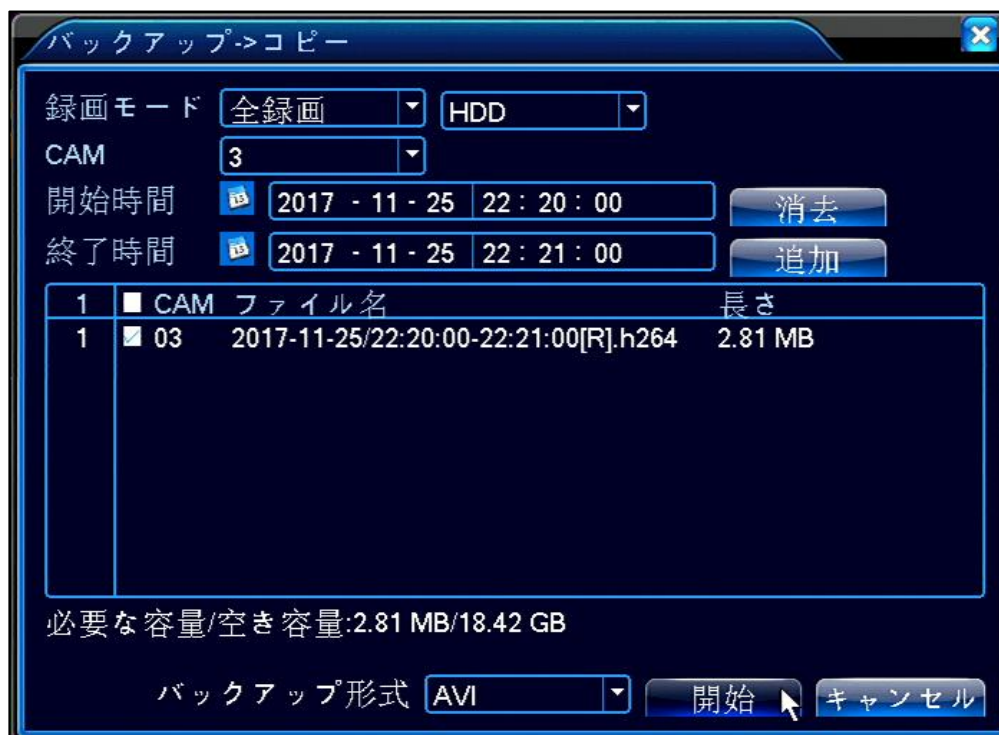
表示されない場合は「機器検出」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は挿し込んだメモリの相性が合わない等の理由で、使用不可です。

そして「コピー」をクリックします。

● 手順4

以下のようなビューワーが表示されます。



- ① 録画モード : 通常「全録画」「HDD」を指定してください。
- ② CAM : バックアップ対象チャンネルを指定します。
- ③ 開始時間 : バックアップする録画データ上の開始・終了時間を指定します。
終了時間 : 設定上は録画データがあるだけ長く指定できますが、概ね30分程度までに留めてください。
従って2時間分バックアップする場合は4回に分けて行うことをお勧めします。
一度に長い時間を行うとパソコンで言う「固まる」状況に陥る場合があります。

この3点を指定したあと・・・、

- ④ 「追加」をクリックします。するとファイル名欄にファイル名とバックアップ容量が表示されます。
- ⑤ バックアップ形式 : 「AVI」を指定します。
- ⑥ 「開始」をクリックすると、バックアップが始まります。
- ⑦ バックアップ作業残り時間が表示されます。
- ⑧ 無事完了すると「バックアップが完了しました。」という表示がされますので、「OK」をクリックします。
- ⑨ ビューワー右上の「×」をクリックしてビューワーを閉じます。
- ⑩ 更にビューワー右上の「×」をクリックしてビューワーを閉じます。
- ⑪ USBメモリを本機から抜き、パソコンのUSBポートに接続します。

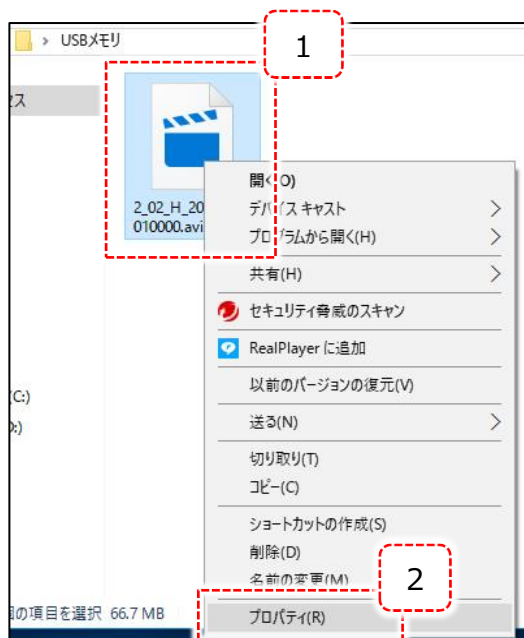
● 手順9：パソコンでの再生

USBメモリに録画映像をダウンロードした後はパソコンに接続し、パソコン上で映像を見る事が出来ます。
パソコンでは「Real Player」というソフトを使用して映像を見る事が出来ます。
無料でダウンロードが出来ますので以下URLよりダウンロードの上、インストールしてください。

<http://realplayer.ja.downloadastro.com/>

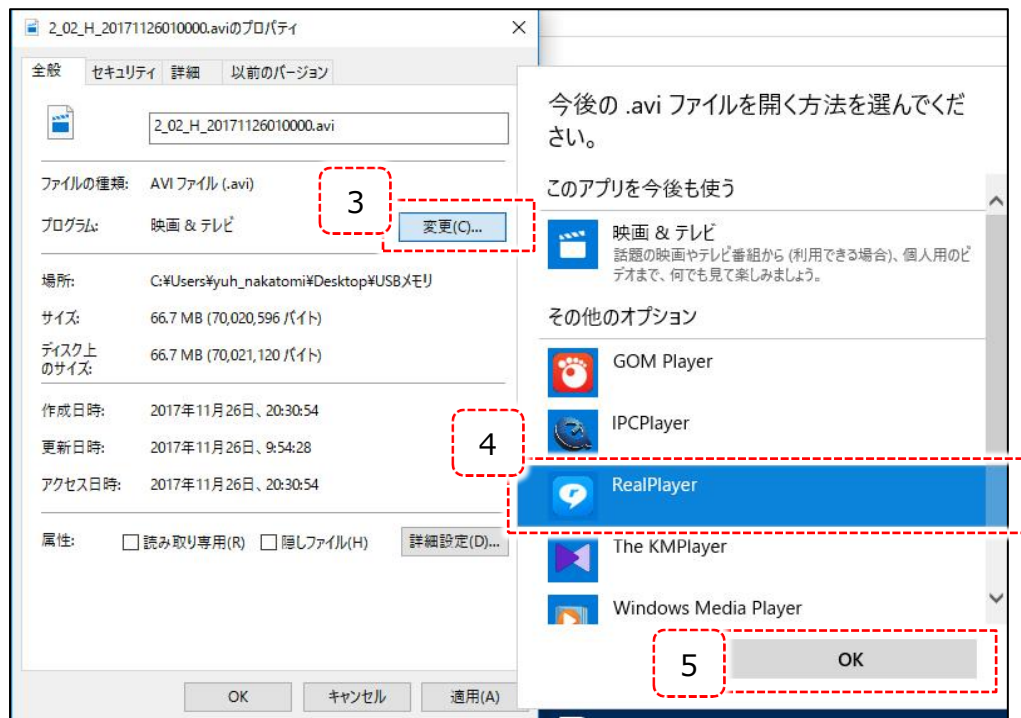
※ WindowsMediaPlayerはご利用になれません。

再生ソフトをインストールしたら、バックアップしたUSBメモリをパソコンに挿し込み、フォルダを開きます。
最初の1回のみ軽微な紐付け設定があります。



[1] USBメモリの中にあるファイルをどれでもいいので
右クリックします。

[2] 「プロパティ」を左クリックします。



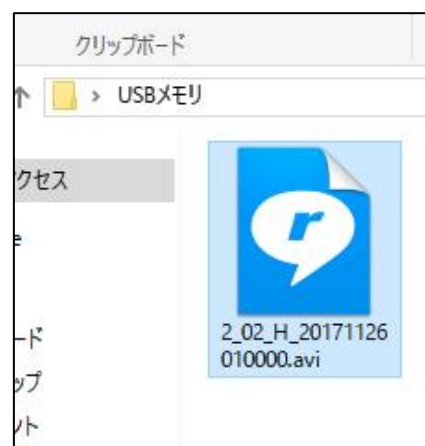
[3] 変更をクリックします。

[4] この中で「RealPlayer」をクリックして選択します。

[5] 「OK」をクリックします。

するとファイルのアイコンが「RealPlayer」のロゴに変化します。

この紐付け設定を行うことにより次回からは、ファイル単独でWクリックすると即座に「RealPlayer」上で再生が始まります。

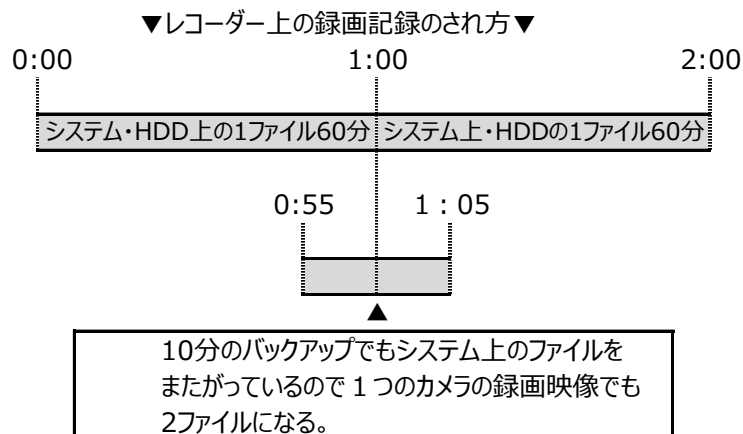




ポイント

- ① 表記はWindows設定で拡張子（ファイル名の「.」以降表示）表示設定を有効にしています。有効にしていない場合は各ファイル名の「.avi」が表示されません。表示されなくても閲覧操作上、差し支えありません。
- ② 今回説明では1台のカメラの録画映像をバックアップした為、1つのファイルがあります。場合によっては1つのカメラの録画映像でも2つのファイルに分割される場合があります。【P46】-「録画単位」で設定されているファイル時間は60分になっています。1回のダウンロードで最大30分を推奨しておりますが、この60分1ファイルをまたがった場合、ファイルが2分割になります。

例：



ポイント

※ システムファイルは区切りがいい時間からスタートしているとは限りません。

- ③ ファイル名の意味ですが、

1_03_H_20171126005500.avi

- ・ 左から1行目1 : そのチャンネルの中のダウンロードされた順番
- ・ 左から3行目03 : カメラチャンネル1=00, 2=01, 3=02, 4=03 以降順番
- ・ 左から6行目H : [H]の場合は、モーション設定録画などのアラーム録画
[R]の場合は、通常録画を意味します。
- ・ 左から12桁目2017 : バックアップ開始指定を行った西暦
- ・ 左から16桁目11 : バックアップ開始指定を行った月
- ・ 左から18桁目11 : バックアップ開始指定を行った日付
- ・ 左から20桁目00 : バックアップ開始指定を行った時間
- ・ 左から22桁目55 : バックアップ開始指定を行った分数
- ・ 左から24桁目00 : バックアップ開始指定を行った秒数



ポイント

17. メニューの説明

詳細設定はすべてこのメニューから行います。

ライブ映像上で右クリックをすると、ポップアップメニューが表示されます。

一番上の「メニュー」をクリックすると、「メニュー」表示されます。

メニューは以下のような項目があります。



- | | | |
|---------|---|-------|
| ① 録画機能 | カメラ別・チャンネル毎のスケジュール録画他、録画再生・バックアップを行います。 | 【P46】 |
| ② アラーム | モーション検知録画設定のカメラ側設置などを行います。 | 【P48】 |
| ③ システム | 時刻、ネットワーク環境、モニター画質などの本機の基本設定を行います。 | 【P50】 |
| ④ 管理ツール | HDD初期化、モニター表示調整などを行います。 | 【P58】 |
| ⑤ 情報 | HDD状況、録画データ量などを確認出来ます。 | 【P60】 |
| ⑥ ログアウト | ログアウト、本機電源OFF、再起動を行います。 | 【P60】 |

①録画設定

カメラ別・チャンネル毎のスケジュール録画他、録画再生・バックアップを行います

①録画設定

— 1) スケジュール

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

録画時間のタイムスケジュールやモーション設定録画を設定するときに使用します。



- CAM
設定するカメラチャンネルを選択します。
- 冗長化
使用しません。
- 録画単位
【P43】で記載の録画ファイルの1ファイルの長さを設定します。通常は変更はしないでください。
- 事前録画
本機では使用しません。

モーション設定録画（動体検知録画）の設定方法は【P66】をご覧ください。

- 録画モード
【P31】-「録画モード」設定と同様です。
ここで設定を行っても、【P31】のポップアップメニューからの設定でも、設定はリンクしています。
モーション設定録画などのアラーム録画を行う場合は「設定録画」を選択します。

- [A]は録画時間の設定になります。
具体的な設定例を挙げます。

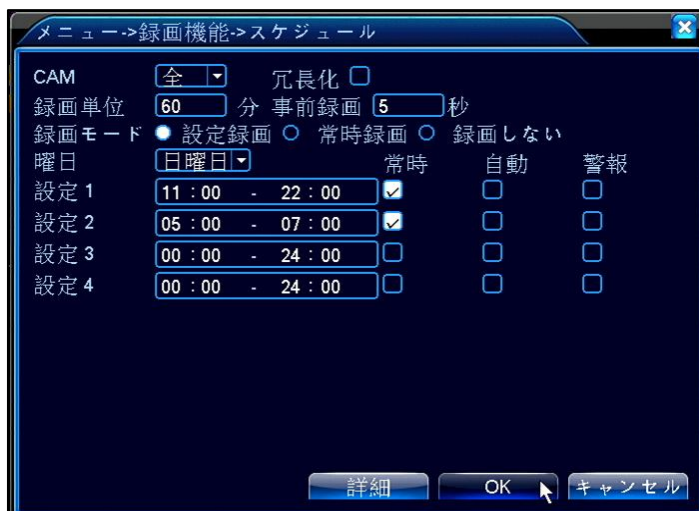
モーション設定録画（動体検知録画）の設定方法は【P66】をご覧ください。

○ 飲食店の営業時間に合わせて、11時～22時まで録画を行い、それ以外は録画をしない設定。



- 設定対象カメラは「全」で全カメラです。

○ 飲食店の営業時間に合わせて、11時～22時まで録画を行い、材料の仕込の早朝5時～7時を録画する。



● 設定対象カメラは「全」で全カメラです。

モーション設定録画（動体検知録画）の設定方法は【P66】をご覧ください。

① 録画設定

— 2) 録画再生

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機に記録された録画映像を再生する方法です。
録画映像再生ビューワーより再生します。
詳しくは【P35】-「15.録画映像再生方法」をご覧ください。

① 録画設定

— 3) バックアップ

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

USBメモリなどの外部メディアにピンポイントで録画映像をバックアップ（データ保存）します。
それをパソコンで閲覧する形式です。
詳しくは【P39】-「16.録画映像バックアップ方法」をご覧ください。

② アラーム

モーション検知録画設定のカメラ側設置などを行います。

② アラーム

— 1) モーション設定

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

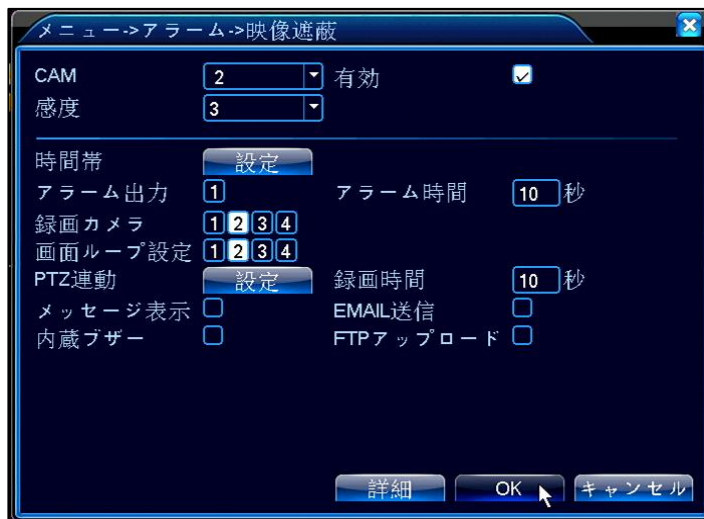
映像上に何か動きがあった時のみ録画を行うモーション設定録画（動体検知録画）設定を行います。
（常時録画を設定し、録画は常時行い、動きがあった場合ブザー鳴動などで知らせる事も可能です）
尚、モーション設定録画はこの設定の他複数の設定を行う為、詳しくは【P66】をご覧ください。

② アラーム

— 2) 映像遮蔽

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

カメラ前面を塞がれてしまった場合それを検知し、その際の本機の動作を設定します。



- CAM
設定するカメラチャンネルを選択します。
- 感度
遮蔽感度を設定します。
6段階で数字が大きいくほど感度は高いです。
（信号ロス設定ではこの項目はありません）
- 時間帯
映像遮蔽設定を有効にするスケジュールを設定します。
- アラーム出力
本機では使用しません。

- アラーム時間
本機では使用しません。
- 録画カメラ
本機が遮蔽検知した場合、どのチャンネルを録画するかを設定します。
通常は遮蔽されたカメラを捉えているカメラチャンネルを選択します。
但し「録画モード」が「常時録画」設定の場合は、常に録画されている状態なので無効です。
- 画面ループ設定
本機が遮蔽検知した場合、どのチャンネルを表示するかを選択します。
通常はCAMで選択したチャンネルと同様のチャンネルを選択します。
この場合は、もし遮蔽検知した場合、選択したチャンネルが単画面で表示されます。
複数チャンネル選択した場合はシーケンスの順送りで表示します。
- PTZ連動
本機では使用しません。
- 録画時間
本機が遮蔽検知した場合、どのくらいの時間録画を行うかを設定します。
但し「録画モード」が「常時録画」設定の場合は、常に録画されている状態なので無効です。
「録画モード」が「設定録画」の場合に有効で、10～300秒の間で設定可能です。
- メッセージ表示
本機が遮蔽検知した場合且つチェック付与されている場合、アラーム全体の状態表示を行います
小ウィンドウがポップアップ表示されます。

- EMAIL送信 本機が遮蔽検知した場合且つチェック付与されている場合、予め設定されている送信先にメール通知します。
Emailの設定は別紙取扱説明書「ネットワークアクセス編」をご覧ください。
- 内蔵ブザー 本機が遮蔽検知した場合且つチェック付与されている場合、本機がブザー鳴動します。
- FTPアップロード 本機では使用しません。

② アラーム
— 3) 信号ロス

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

カメラ映像入力遮断された場合それを検知し、その際の本機の動作を設定します。
設定内容は前項「2)映像遮蔽」と同様ですので、そちらをご覧ください。

② アラーム
— 4) アラーム入力

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機では使用しません。

② アラーム
— 5) 警報出力

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機では使用しません。

② アラーム
— 6) HDD異常表示

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

ハードディスクに何らかの異常（認識しない、エラー等）またはネットワークエラー（ネット切断、I P 重複）などが発生した場合、メッセージ表示・ブザー鳴動などで注意・警告を促します。
設定の際は、有効にチェックを付与してください。

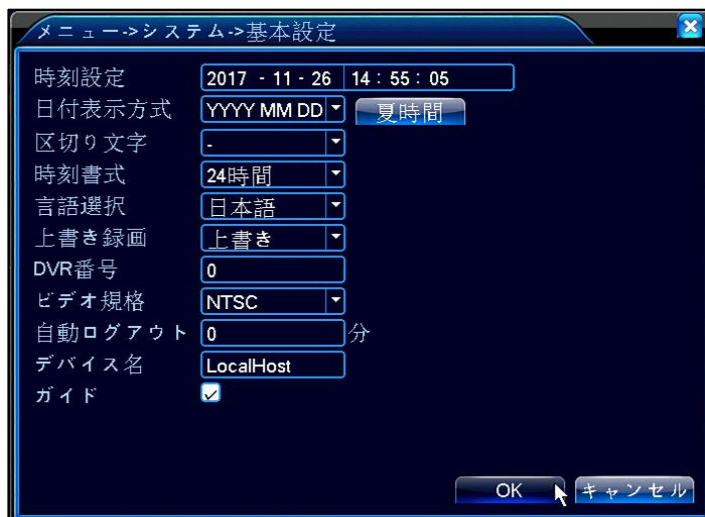
③システム

時刻、ネットワーク環境、モニター画質などの本機の基本設定を行います。

③ システム

ー 1) 基本設定

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。



- 時刻設定
現在日付の設定を行います。
数字をクリックするとテンキーが表示され、そこから数字を選択します。
- 日付表示方式
表示形式の設定を行います。
年・月・日の並び替えが可能です。
- 夏時間
本機では使用しません。
- 区切り文字
現在時刻表示の区切り文字を変更します。

- 時刻書式
12時間表示／24時間表示の設定を行います。
- 言語選択
本機のメニュー表示言語を変更・選択します。
- 上書き録画
本機搭載のHDDが録画データが満タンになったときの動作を設定・変更します。
通常は「上書き」設定で、録画データが満タンになった場合HDDの先頭に戻り順次上書きしていきます。
- DVR番号
本機の通し番号になります。
これはユーザー様側が分かり易いように識別する為の表示的・メモ的な設定項目になります。
従って、無視しても差し支えありません。
- ビデオ規格
「NTSC」から変更しないでください。
- 自動ログアウト
ログインからカウントして、設定した時間が経過すると自動的にログアウトします。
- デバイス名
通常、変更しないでください。
- ガイド
本機起動直後、対話形式設定変更メニューを表示するか否かです。
通常、チェックは付与されていない状態にしてください。

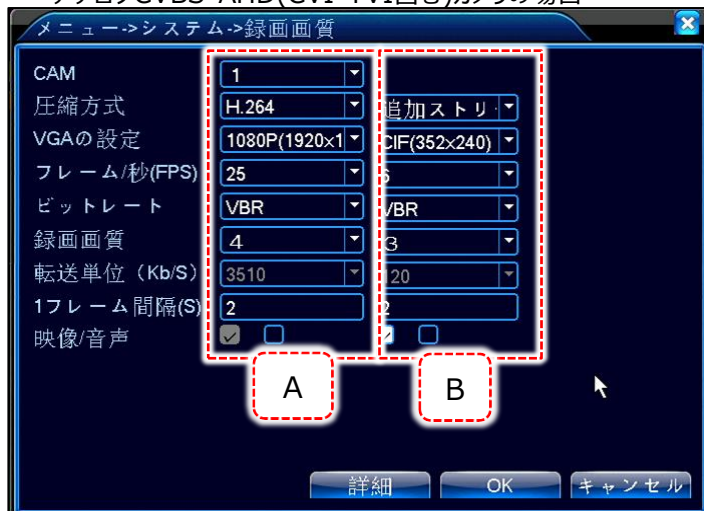
③ システム
— 2) 録画画質

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

カメラ映像の録画画質などを設定します。

アナログチャンネルモードの場合とデジタルチャンネルモードの場合で2通りの設定画面があります。

▼ アナログチャンネルモード
▼ アナログCVBS・AHD(CVI・TVI含む)カメラの場合



本項設定に伴う録画時間は
【P62】-「18.録画時間」
をご覧ください。

左写真では[A][B]と設定する項目が2つあります。
通常は[A]のみ設定を行います。
なので基本[B]は無視してください。

- CAM 設定するカメラチャンネルを選択します。
- 圧縮方式 「H.264」から変更出来ません。
- VGAの設定 録画解像度を設定します。
以下、詳細等明記していますが、基本的にこの設定はカメラを接続したときに自動認識しますので設定の必要はありません。
(モニターに表示されているカメラ映像は、カメラ自身の性能の最高のパフォーマンスで表示されていますので、本項の設定とは関係ありません)

接続するカメラにより設定出来る項目が限られます。

▼カメラ種類▼	▼設定解像度▼	▼備考▼
アナログCVBSカメラ	960H(960×480)	この設定のみ
AHDカメラ	960H(960×480)/46万画素	どれでも設定可
CVIカメラ	720P(1280×720)/130万画素	
TVIカメラ	1080P(1920×1080)/200万画素	

※ AHD,CVI,TVIカメラは通常720Pか1080Pで設定してください。

また、カメラ側解像度が、1080P(200万画素)の場合は、本機側設定も1080Pにしてください。
このように、カメラ側の解像度と本機側の解像度は同じであることが望ましいです。

※ この設定の数値が高ければ高いほどHDD消費量は多くなります。
録画時間は【P62】-「18.録画時間」をご覧ください。

- フレーム/秒(FPS) 各カメラチャンネルに対し、1 秒間に何コマ録画するかを設定します。
このコマ数が多ければ多いほどきめ細かな動きまたは動画に近い映像になります。
コマ数が少ないほど動きが粗い映像になります。
※ この設定の数値が高ければ高いほどHDD消費量は多くなります。
録画時間は【P62】-「18.録画時間」をご覧ください。
- ビットレート 録画しようとするカメラ映像は頻繁に動きがある映像か、それともない映像かにより設定項目が異なります。
 - CBR
ライブ映像が動きがある・ないに関わらずHDD消費量は一定です。
相対的なHDD消費量は上記「変動」より多くなります。
 - VBR（※通常こちらを設定）
映像の動きによってフレームレートを自動的に調整します。
静止している映像の場合は、HDD消費を極限まで抑える為、相対的なHDD消費量は下記の「固定」より少なくなります。
通常はこちらを選択・設定してください。
- 録画画質 画質を設定・変更します。
「1」が画質が悪く、HDD消費量が少なく、「6」が画質が良く、HDD消費量が大きいです。
※ この設定の数値が高ければ高いほどHDD消費量は多くなります。
録画時間は【P62】-「18.録画時間」をご覧ください。
- 転送単位(Kb/S) 以上の設定内容から、データ量を自動算出します。
- 1フレーム間隔(S) 「2」のまま変更しないでください。
- 映像／音声 右チェックボックスにチェックを付与すると音声録音可能です。
但し【P20】-「9. 全体の配線・接続例」のように、本機に集音機からのケーブル接続が必要です。

▼ デジタルチャンネルモード
ネットワークカメラの場合



本項設定に伴う録画時間は
【P62】-「18.録画時間」
をご覧ください。



ここで設定・変更した場合は
カメラ側本体内の設定・変更
も反映されます。

ポイント

- CAM 設定するカメラチャンネルを選択します。
- ストリーム 基本「メインストリーム」を選択してください。
- 圧縮方式 接続カメラにより選択肢が異なります。詳しくはカメラの説明書をご覧ください。
- VGAの設定 現在カメラ側で設定されている解像度を表示しています。
接続カメラにより選択肢が異なります。詳しくはカメラの説明書をご覧ください。
この設定を変更するには、カメラにアクセスしてカメラ側の設定を変更する必要があります。
- フレーム/秒(FPS) 各カメラチャンネルに対し、1秒間に何コマ録画するかを設定します。
ここで設定変更を行うとカメラ側の設定も同じように設定変更が反映されます。
- 録画画質 画質を設定・変更します。
「1」が画質が悪く、HDD消費量が少なく、「6」が画質が良く、HDD消費量が大きいです。
※ この設定の数値が高ければ高いほどHDD消費量は多くなります。
録画時間は【P62】-「18.録画時間」をご覧ください。
- 転送単位(Kb/S) この値は変更しないでください。
- 1フレーム間隔(S) この値は変更しないでください。

③ システム

— 3) ネットワーク

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機のネットワーク環境を設定します。
詳しくは別紙「ネットワークアクセス編」をご覧ください。

※ P2Pアクセスを行う場合は「DHCP」にチェックを付与してください。

③ システム

— 4) メール設定

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機がアラーム発報（モーション設定作動など）した場合、指定のアドレスにメールを送信する事が出来ます。
またP2Pアクセスを行う場合、本項の最下部の「クラウド 有効：」に続くパスワードを控えてください。

③ システム

— 5) 画質設定

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機のHDMI・VGA出力（モニター出力）に対しての、表示設定になります。



● CAM番号

各チャンネルの「CAM01」などの名称を変更します。
数字・大文字・小文字・記号より入力します。

● 時刻表示

モニター映像右上の現在日時表示の有無を設定します。
チェックが付与されていると、表示されている状態です。

● カメラタイトル

各チャンネルの「CAM01」などの名称の表示の有無を設定します。
チェックが付与されていると、表示されている状態です。

● 録画状態

各チャンネルの録画状態表示（ビデオテープのマーク）の有無を設定します。
チェックが付与されていると、表示されている状態です。

● 状態

各チャンネルのアラーム作動状態（モーション設定など）の有無を設定します。
チェックが付与されていると、表示されている状態です。

● デブリッカー

本機ではサポートされていないため、使用しません。

● 透明度

メニュー画面の背景色の透明度を設定します。
数値が低ければ低いほど、背景が透けてきます。

● 解像度

モニター表示の時の解像度を設定します。
設定値が以下の通りです。

○ 1024×768	78万画素	画面非比	4:3
★ 1280×720	92万画素	画面非比	16:9
○ 1280×1024	130万画素	画面非比	5:4
○ 1440×900	130万画素	画面非比	16:10
○ 1920×1080	200万画素	画面非比	16:9

★=出荷時初期設定値

★は初期設定値は汎用性が一番高い設定です。

本機を接続するモニターとモニターの解像度がマッチングしない場合は映像は表示されません。

● CAM
● マスキング



カメラ映像でチャンネル毎に部分マスキング設定が出来ます。

まず、部分マスキング設定したいチャンネルを「CAM」より選択します。

「マスキング」にチェックを付与します。

□の番号で[1]をクリックします。

「設定」をクリックします。

すると「CAM」で選択したチャンネルが単画面になり、緑の枠が表示されています。

この緑枠がマスキング部分になります。

枠にマウスカーソルを合わせると矢印が変化しますので、その方向に左クリックドラッグすると緑枠が広がります。

緑枠を移動させたい場合は、マウスカーソルを緑枠内に移動させて左クリックドラッグすると移動します。

終了する場合は右クリックします。

すると、設定した箇所が黒くマスキングされます。

● 時刻表示
● カメラタイトル



録画映像に録画時の「現在日時」「カメラタイトル」を埋め込むか否かを設定します。

チェックが付与されている状態だと埋め込まれます。

「設定」をクリックすると、「現在日時」「カメラタイトル」の埋め込み位置を変更する事が出来ます。

③ システム
— 6) PTZ設定

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機ではサポートしておりません。

③ システム
— 7) シリアルポート

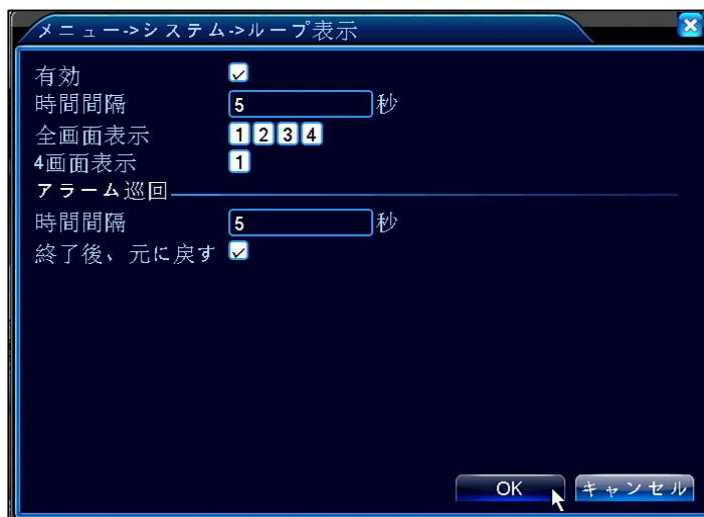
ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機ではサポートしておりません。

③ システム
— 8) ループ表示

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機のHDMI・VGA出力（モニター出力）に対しての、各カメラ映像のループ表示（順送り表示）などを設定します。

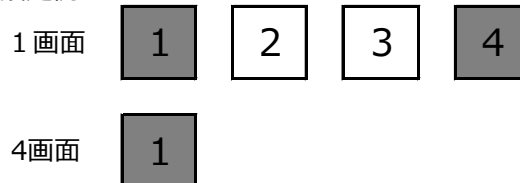


- 有効
チェックを付与されていると、ループ設定が可能になり、作動状態になります。
- 時間間隔
ループ作動している場合、次のチャンネル表示に行くまでの秒数を設定します。

- 全画面表示
- 4画面表示

切替え画像の選定を行います。
1画面（単画面）の1～4チャンネル、4画面の計5パターンから選択します。
8・8CHレコーダーの場合はさらに多くの組み合わせが可能です。

○設定例



この場合、

1チャンネル→4チャンネル→4画面→1チャンネル……

という形で、「時間間隔」で設定した間隔で自動的にライブ映像が切り替わります。

- アラーム巡回
 - ・ 時間間隔
 - ・ 終了後
元に戻す
- アラーム作動（モーション設定作動）した場合、ループ設定した画面がポップアップ表示しますが、その後、画面構成をアラーム作動する前に戻すか否かの設定を行います。
 「時間間隔」はアラーム作動後に何秒で作動前の画面構成に戻すかの設定です。
 「終了後、元に戻す」にチェックを付与すると、当設定が有効・作動可能状態になります。

③ システム

— 9) チャンネル管理

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

- 遠隔装置

今現在、本機に紐付け設定されているネットワークカメラの一覧になります。
- チャンネル
ステータス

今現在、本機に接続されているカメラの概要一覧が表示されます。
- チャンネルモード

詳しくは【P12】-「6. チャンネルモードについて」をご覧ください。

④管理ツール

HDD、ユーザー、本機の保守設定などを設定します。

④ 管理ツール

— 1) ハードディスク

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

ハードディスクに関する設定・操作です。

- 保存可能設定 ハードディスクを録画可能状態にします。通常は操作しないでください。
- 書き込み禁止 ハードディスクを録画不可能状態にします。通常は操作しないでください。
- 冗長化 本機はサポートしておりません。
- エラー回復 ハードディスクに何らな障害が発生している時に自動修復を行います。
但し、ハードディスク内のデータにも障害を及ぼす危険性があります。

④ 管理ツール

— 2) アカウント

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

ユーザー権限を設定します。

- ユーザー変更 「ユーザー名変更」「操作権限」を変更する事が出来ます。
- グループ変更 「グループ名変更」「操作権限」を変更する事が出来ます。
- パスワード変更 パスワードを変更します。
現状パスワードがわからなくなってしまった場合はお問合せください
(新パスワードを発行致しますが、通常 2 日程度要します)
- ユーザー追加 新しいユーザーを追加し、そのユーザに対しての操作権限を設定します。
- グループ追加 新しいグループを追加し、そのグループに対しての操作権限を設定します。
- ユーザー削除 現状設定してあるユーザーを削除します。
- グループ削除 現状設定してあるグループを削除します。
- 更新 ユーザー一覧を最新の状態に更新します。

④ 管理ツール

— 3) オンライン

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機にアクセス（LAN・WAN問わず）しているネットワーク機器情報が表示されます。

④ 管理ツール
— 4) 表示調整

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機のHDMI・VGA出力（モニター出力）に対しての、画面調整を行います。

- 縮小 各側を内側側に寄せて表示の欠けを調整します。
- 輝度 各設定値を見やすい設定に調整します。
 コントラスト
 彩度
 色合い

④ 管理ツール
— 5) 自動保全

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機の再起動スケジュールを設定します。
通常は設定なしで運用してください。

④ 管理ツール
— 6) 初期値

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機の設定を初期化します。
但し、本機は出荷前に当社にて設定を行い出荷しており、初期化を行うとその出荷前
設定に戻るといった訳ではありませんのでご注意ください。

④ 管理ツール
— 7) アップグレード

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

サービス向け設定の為、操作しないでください。

④ 管理ツール
— 8) 外部機器

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

サービス向け設定の為、操作しないでください。

④ 管理ツール
— 9) 輸出入

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

下記の情報を外部メモリ（USBメモリなど）に保存、本機へ読み出しを行います。

- ログ情報 操作・動作履歴を保存します。
- 設定 エクスポート：既存の設定を保存します。
 インポート：外部メモリに保存してある設定を本機に読み出します。

⑤情報

各種情報を閲覧できます。

⑤ 情報

— 1) ハードディスク情報

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機に搭載されてるハードディスクの容量や録画時間（いつからいつ録画されているか）を確認出来ます。

⑤ 情報

— 2) データ転送速度

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

録画されているカメラチャンネルのデータ量（ハードディスク消費量）を毎秒・毎時を確認出来ます。

⑤ 情報

— 3) ログ情報

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

ログイン状況、操作履歴などが確認出来ます。
検索も可能です。

⑤ 情報

— 4) バージョン

ご注意：設定変更後は「OK」クリックで最終的に確定・有効。

本機のバージョン情報が確認出来ます。

⑥ログアウト

ログアウト・電源OFFの際に操作します。

詳しくは【P33】-「⑫ログアウト」をご覧ください。

18. 録画時間

本機での録画設定で、解像度・フレームレート・画質の組み合わせにより、録画時間が変わります。
以下は各システムでの録画目安時間を示した表になります。

① アナログCVBSカメラの場合

●録画日数表：アナログCVBSカメラ・4CHレコーダー(ES-XVR304A)●

標準搭載HDD500GBの場合

解像度 (4096素 H)	1秒間に 録画するコ マ数 [FPS]	画 質	カメラ台数に応じた録画日数			
			1台	2台	3台	4台
	10	4	56	28	21	14
		5	36	18	14	9
	15	4	40	20	15	10
		5	28	14	11	7
	20	4	32	16	12	8
		5	22	11	9	6
	25	4	28	14	11	7
		5	18	9	7	5

● HDD:1TB (録画日数は上記の2倍) と2TB・4TB (4倍～8倍) へ増強可。

● コマ数[FPS]は設定値は1～25まで設定出来ますが、上記は代表値として記載しています。

● 画質の設定値は1～6(高い数字が画質良)で設定出来ますが、上記は代表値として記載しています。

※ 赤字は初期設定値になります。録画日数は目安値で環境により変動します。

● 録画日数表：アナログCVBSカメラ・8CHレコーダー(ES-XVR308A) ●										
標準搭載HDD1TBの場合										
解像度 (4096素 H)	1秒間に 録画するコ マ数 [FPS]	画 質	カメラ台数に応じての録画日数							
			1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台
	10	4	112	56	37	28	22	19	16	14
		5	72	36	24	18	14	12	10	9
	15	4	80	40	27	20	16	13	11	10
		5	56	28	19	14	11	9	8	7
	20	4	64	32	21	16	13	11	9	8
		5	44	22	15	11	9	7	6	6
	25	4	56	28	19	14	11	9	8	7
		5	36	18	12	9	7	6	5	5
● HDD:2TB (録画日数は上記の2倍) と4TB (4倍) へ増強可。										
● コマ数[FPS]は設定値は1〜25まで設定出来ますが、上記は代表値として記載しています。										
● 画質の設定値は1〜6(高い数字が画質良)で設定出来ますが、上記は代表値として記載しています。										
※ 赤字は初期設定値になります。録画日数は目安値で環境により変動します。										

② AHDカメラ(CVI,TVI含)の場合

●録画日数表：AHDカメラ(CVI・TVI含)・4CHレコーダー(ES-XVR304P)●

標準搭載HDD1TBの場合

解像度 (200万画素) P	1秒間に 録画するコマ数 [FPS]	画質	カメラ台数に応じた録画日数				
			1台	2台	3台	4台	
	10	4	56	28	21	14	
		5	36	18	14	9	
	15	4	40	20	15	10	
		5	28	14	11	7	
	20	4	32	16	12	8	
		5	22	11	9	6	
	25	4	28	14	11	7	
		5	18	9	7	5	

● HDD:2TB (録画日数は上記の2倍) と4TB (" 4倍) へ増強可。

● コマ数[FPS]は設定値は1〜25まで設定出来ますが、上記は代表値として記載しています。

● 画質の設定値は1〜6(高い数字が画質良)で設定出来ますが、上記は代表値として記載しています。

※ 赤字は初期設定値になります。録画日数は目安値で環境により変動します。

●録画日数表：AHDカメラ(CVI・TVI含)・8CHレコーダー(ES-XVR308P)●

標準搭載HDD2TBの場合

解像度 (200万画素) P	1秒間に 録画するコマ数 [FPS]	画質	カメラ台数に応じた録画日数							
			1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台
	10	4	112	56	37	28	22	19	16	14
		5	72	36	24	18	14	12	10	9
	15	4	80	40	27	20	16	13	11	10
		5	56	28	19	14	11	9	8	7
	20	4	64	32	21	16	13	11	9	8
		5	44	22	15	11	9	7	6	6
	25	4	56	28	19	14	11	9	8	7
		5	36	18	12	9	7	6	5	5

●HDD:4TB(録画日数は上記の2倍)へ増強可。

●コマ数[FPS]は設定値は1〜25まで設定出来ますが、上記は代表値として記載しています。

●画質の設定値は1〜6(高い数字が画質良)で設定出来ますが、上記は代表値として記載しています。

※赤字は初期設定値になります。録画日数は目安値で環境により変動します。

③ ネットワークカメラの場合

● 録画日数表：ネットワークカメラ・8CHレコーダー(ES-XVR304N) ●

標準搭載HDD 2TBの場合

ネットワークカメラ録画130・200・300万画素

カメラ側配信レート [Kb/s]	カメラ台数に応じた録画日数							
	1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台
1,000	98	49	33	25	20	16	14	12
2,000	48	24	16	12	10	8	7	6

● HDD:4TB（録画日数は上記の2倍）へ増強可。

- ネットワークカメラの録画時間はカメラ側設定の配信レート（転送単位・ビットレート）設定に準じます。カメラ側でもフレームレート・画質の設定はありますが、配信レートの数値が録画時間算出の基準になります。カメラ側の配信レートは本機側操作からでも設定・変更は可能です。従って、初期設定値という概念はありません。

- カメラ8台までの場合は配信レートは1,000～2,000程度で差支えないです。

※ 赤字は初期設定値になります。録画日数は目安値で環境により変動します。

● 録画日数表：ネットワークカメラ・8CHレコーダー(ES-XVR308N) ●

標準搭載HDD4TBの場合

ネットワークカメラ録画130・200・300万画素

カメラ側配信レート [Kb/s]	カメラ台数に応じた録画日数							
	1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台
1,000	196	98	65	49	39	33	28	25
2,000	96	48	32	24	19	16	14	12

● HDD:4TBが最大の為、増強は出来ません。

- ネットワークカメラの録画時間はカメラ側設定の配信レート（転送単位・ビットレート）設定に準じます。カメラ側でもフレームレート・画質の設定はありますが、配信レートの数値が録画時間算出の基準になります。カメラ側の配信レートは本機側操作からでも設定・変更は可能です。従って、初期設定値という概念はありません。

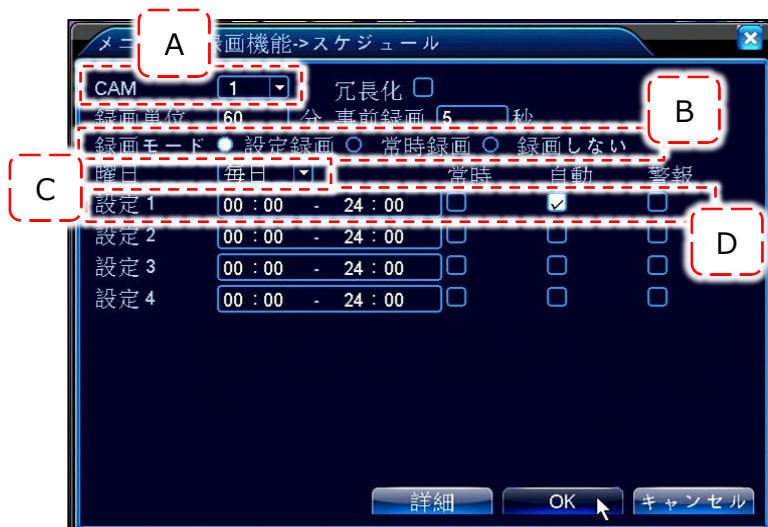
- カメラ8台までの場合は配信レートは1,000～2,000程度で差支えないです。

※ 赤字は初期設定値になります。録画日数は目安値で環境により変動します。

19. モーション設定録画（動体検知録画）設定方法

モーション設定録画（動体検知録画）は、本機映像上になんらかの動きがあった場合、その動いたときのみ録画するという録画方法です。設定項目が多岐に渡るので、本項で全体的な設定の流れを説明します。

● 手順 1



ライブ映像右クリック → メニュー
→ 録画機能 → スケジュール

の順に画面移動すると左写真設定画面になります。

[A]部でモーション設定録画を行いたいカメラチャンネルを設定します。
すべてのカメラチャンネルにモーション設定録画を適用したい場合は「全」を選択します。

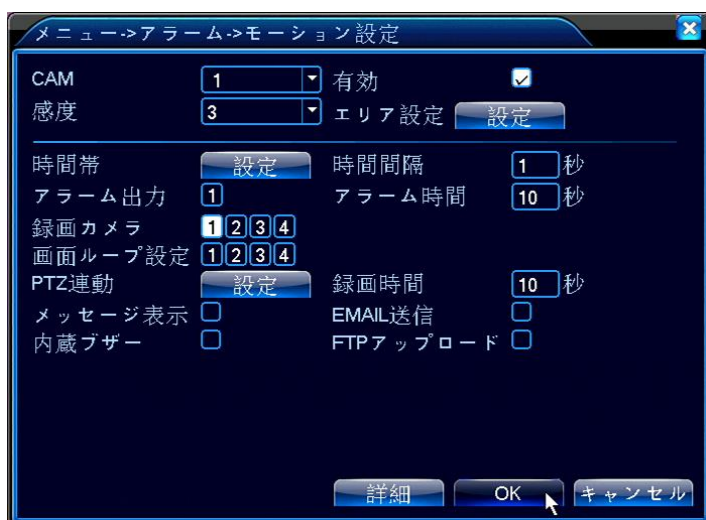
[B]部で「設定録画」を選択クリックします。
[C]部で「毎日」を選択します。
[D]部で「自動」にチェックを付与します。

「OK」をクリックします。

一度ライブ映像に戻り、

ライブ映像右クリック → メニュー
→ アラーム → モーション設定

の順に画面移動すると左写真設定画面になります。



● エリア設定

「設定」をクリックするとモーション検知エリアがハッチ状に表示されピンク色で塗られています。マウス左ドラッグでピンク色を解除する事が出来ますが概ねすべて塗られている状態で運用してください。

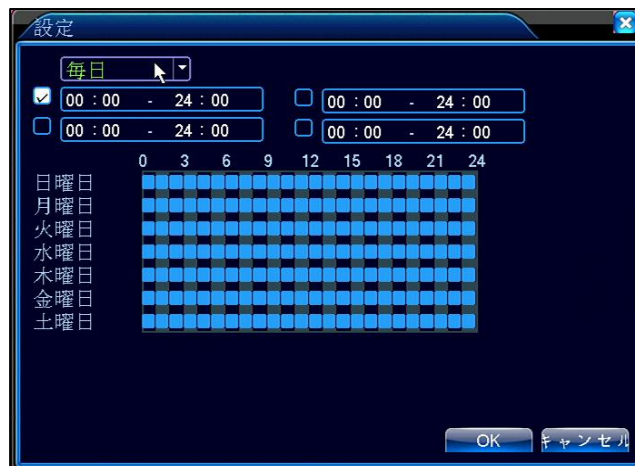
● CAM
モーション設定録画を行うカメラチャンネルを選択します。

● 有効
モーション設定を有効にする為、チェックが付与されている状態にします。

● 感度
モーション検知をする感度を設定します。
概ね通常レベルの「3」で設定してください。
数字が大きいくほど感度は強力になります。

- 時間帯

クリックするとモーション設定作動スケジュール設定が表示されます。



ここでは毎日を設定したい為、タイムバーの部分が左写真のようにすべて青く塗られている状態である事を確認します。

- 時間間隔

モーション設定作動から、ここで設定した時間内はモーション検知されても受け付けないという設定になります。通常「1」で設定してください。

- アラーム出力

設定はそのままにしてください。

- アラーム時間

設定はそのままにしてください。

- 録画カメラ

モーション設定が作動した場合、どのチャンネルのカメラを録画するかを設定します。通常は「CAM」で選択した同じチャンネルにチェックを付与します。

- 画面ループ

モーション設定が作動した場合、どのチャンネルをモニターに表示させるかの設定です。選択したチャンネルが単画面でループ表示します。

- PTZ連動

設定は行いません。

- 録画時間

モーション設定が作動した場合、どのくらいの長さの時間録画するかを設定します。

- メッセージ表示

モーション設定が作動した場合、本機全体のアラーム作動状況をモニター映像にポップアップ表示させます。
通常は使用しません。

- EMAIL送信

モーション設定が作動した場合、設定したメールアドレス宛にメールを送信します。
詳しくは別紙「ネットワークアクセス編」をご覧ください。

- 内蔵ブザー

モーション設定が作動した場合、ブザー鳴動します。

- FTPアップロード

通常は使用しません。

これらを設定したら、「OK」をクリックしてライブ映像に戻ります。
ライブ映像で右クリックして、「録画モード」をクリックします。



モーション設定録画を行いたいチャンネルを「設定録画」に設定します。
そして「OK」をクリックします。
これでモーション設定録画の設定は完了です。

カメラ映像左下に
カメラ映像に何か動きがあった瞬間に、

が表示され、その直後、

が表示されたら設定は成功です。

20. Q & A

ここではお客様からよくお問合せ頂く質問内容をまとめました。

① 停電等、突発的な電源遮断後に再起動したらHDDが認識しなくなった。

復旧の見込みがある解決方法は以下の通りです。

- A. レコーダー後面のアダプタ接続を外して10分程度経過してから電源を再投入する。
- B. Aで復旧しない場合、Aの方法を数回行ってみる。
- C. これらでも復旧しない場合、同じくアダプタは切り離れた状態で一晩または12時間程度放置しておく。
これは内部の部品に至る電気を全て放電させて、電気回路的にリフレッシュさせる事が目的です。
それからA・Bを行ってみる。

② カメラ増設などをしたらHDDが認識しなくなった。

弊社でカメラセットお買い上げ後、同じく弊社セット内容の電源分岐ケーブルで増設分カメラを電源で補った場合、電流容量が不足してHDDが動かない場合があります。
カメラ側の電源を外して、レコーダーのみに電源を接続して起動してみてください。
HDDが認識した場合、電流容量が大きいアダプタへの交換が必要です。

③ 現在時刻が合わなくなってきた。

これはどの機器もそうですが、月単位で考えると必ず合わなくなってきました。
本機単独でご利用になる場合は手動による修正が必要です。
本機をWAN側よりアクセス出来る状態の場合は、外部の時計サーバーとリンクする事が出来ます。
詳しくは別紙「ネットワークアクセス編」をご覧ください。

④ 本機をパソコンと接続してパソコンから操作したい。

ネットワーク的に接続してパソコンより本機を操作出来ます。
設定方法は別紙取扱説明書「ネットワークアクセス編」をご覧ください。

⑤ 本機をインターネット経由で出先から操作・監視したい。

④と同じです。
またこのインターネット経由での操作・監視を行う設定はルーターの設定がメインになります。
ルーターの設定項目はメーカーにより様々で異なります事からサポート外になっておりますのでルーターの設定に関しては、メーカーにお問合せください。
尚、別紙取扱説明書「ネットワークアクセス編」にメーカーに何を聞けば良いのか記載してありますのでご参考をご覧ください。

⑥ USBメモリが認識しない。

バックアップ時に「機器検出」をクリックしても認識しない場合ですが、以下のような状況の場合認識しない場合があります。

- A. USBメモリの総容量が大きすぎる。
→ 他のUSBメモリでお試ください。
- B. USBメモリの総容量が大きすぎる。空き容量が少ない。
→ メモリの空き容量を増やしてください。
- C. 本機が認識する際、USBメモリの中に認識を妨害するようなファイルが既に入っている。
→ メモリをフォーマットしてみてください。
- D. 相性等
→ 他のUSBメモリでお試ください。

⑦ カメラ映像のタイトルや時計表示が欠ける。

本機の実出力先・接続先のモニターによっては、本機映像の左右上下何れか欠ける場合があります。詳しくは【P49】-「③システム-1)基本設定」をご覧ください。

⑧ ログインパスワードがわからなくなった場合。

現状パスワードがわからなくなってしまった場合はお問合せください
(新パスワードを発行致しますが、通常 2 日程度要します)

⑨ 本機稼働時中に誤ってコンセントを抜いて（他突発停電などで電源が切れる）しまい、起動しなくなった。

パソコンで例えるのであれば、シャットダウンせずにコンセントを抜く状況と同じになります。
従って本機搭載のHDDが破壊（本機ハード部も障害出る場合があります）されてしまう場合があります、破壊されてしまうと復旧は出来ません。
一度当社へお問い合わせください。
尚、本機のシャットダウン（電源を切る方法）は【P33】-「⑫ログアウト」をご覧ください。



この不具合は保証対象外です。

この場合の不具合は保証対象外になりますので予めご了承ください。

⑩ 本機起動直後、真っ暗な画面になり、進まなくなった。

接続しているモニターと本機とで映像信号がマッチングしていない状態の場合、このような症状が発生します。
弊社へお問合せください。

21. 機器仕様

仕様/型番/CHタイプ		アナログCVBS仕様		AHD仕様(CVI,TVI含)		ネットワーク仕様	
		4CHタイプ	8CHタイプ	4CHタイプ	8CHタイプ	4CHタイプ	8CHタイプ
		ES-XVR304A	ES-XVR308A	ES-XVR304P	ES-XVR308P	ES-XVR304N	ES-XVR308N
外観							
映像入力・入力コネクタ数		BNC×4	BNC×8	BNC×4	BNC×8	装着はあるが使用しない	
分割画面表示分割数		1, 4	4, 8, 9	1, 4	4, 8, 9	4, 8, 9	4, 8, 9
映像出力		VGA,HDMI,BNCビデオ信号 (モニター監視には不向き・一時テスト用)					
録画解像度		960H : 46万画素		720P:130万画素 1080P:200万画素		最大3M: 300万画素	最大5M: 500万画素
対応カメラプロトコル		NPTS/NETIP/ONVIF					
最大録画再生レート		カメラ 1 台あたり最大25FPS / ネットWの場合はカメラ側配信レートに準ずる					
操作媒体		マウス・本体ボタン操作					
映像圧縮方式		H.264 (ネットワークカメラによりH.265も対応)					
音声入力・出力／NET		入力RCA×4・出力RCA×1 / 10M/100M base-T Ethernet (RJ-45)					
USBポート／アラーム入力・出力		USB2.0ポート前面×1、後面×2 / アラーム入出力未搭載					
内蔵記録媒体		内蔵3.5インチHDD・SATA / 最大4TB迄増強可／HDD1台のみ搭載可					
標準搭載HDD容量		500GB	1TB	1TB	2TB	2TB	4TB
電源／寸法／重量		DC12V・3A・48W／長さ253mm-高さ41mm-奥行230mm／1.5kg(HDD除く)					
使用環境温度／湿度		0℃～+40℃ / 90%以下					
主要機能		動体検知録画、多画面分割表示、シーケンシャル表示、スケジュール録画 USB一部始終バックアップ、ネットワーク接続遠隔監視、Email送信					
外部アクセスシステム条件		Windows7,8,10対応／Internet Explorer11専用 / P2Pアクセス可					
対応モバイル端末		iPhone , Andoroid (専用のビューワーソフトで閲覧可)					
録画カメラ台数	アナログCVBS	4台	8台	4台	8台	8台	8台
	AHD(CVI,TVI含)	4台	8台	4台	8台	8台	8台
	ネットワーク	8台	8台	8台	8台	8台※1	8台
	MIXモードについて	本機は基本どのカメラシステムで接続・録画可能です。上記カメラ台数は各カメラシステムで録画出来る最大の台数を明記しています。録画モードにより異なるカメラシステムを併用できます。 当商品では「アナログCVBS仕様」「AHD仕様」「ネットワーク仕様」と仕様を区分けて販売しておりますが、これは初期設定の内容とそのカメラシステムに対して最適なHDDを搭載している都合上、またお客様のご混乱を招かないようこのような区分け販売をしております。従って異なるカメラシステムの録画は上級者の方のみご利用頂く事をお勧め致します。					
※1	ネットワーク仕様で4CHタイプでも、ネットワークカメラは最大8台録画する事が出来ます。4CHタイプと定めているのは、HDD搭載容量を低めにして価格的に8CHタイプより低く設定する目的で行っております。						

22. アフターサービスについて

1. 日頃のお手入れについて

6カ月に1度は、本機の外観のホコリ等の除去をお願い致します。

2. 本機に異常が見られたとき

① 保証期間内に異常が見られた場合は、別紙保証書の保証規定をご覧ください。

② 保証期間外に異常が見られた場合ですが、一度当社へご連絡をお願い致します。

当社は安価型システム販売専門としている為、安価型商品を修理致しますと、以下のような項目の費用が発生し、最終的には新品価格と同等になります。

- 1) 修理部品(症状により様々)
- 2) 修理工賃
- 3) 諸経費
- 4) 配送費

従いまして、原則修理は受け付けておらず、新品への更新をお勧めしております。
但し、不具合の症状の中には本機異常以外の理由で、

例 1 : 映像にノイズ発生。
実は、コネクタ接続部の接触不良で本機には問題なし。

例 2 : 映像が映らなくなった。
実は、モニターの電源が付かなくなっていた。

という事も御座いますので、機器点検は当社にて受け付けております。
エンドユーザー様より当社への発送費用は元払い（エンドユーザー様のご負担）でお願い致します。
その点検にて軽微な症状例の場合ですが、以下に例を明記します。

例 1 : ケーブル類の接触・断線寸前（カメラ関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

例 2 : 内部バッテリー、HDD異常（レコーダー関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

というように、軽微な症状例ですと修理は可能で御座います。
点検ご依頼の際は、点検結果をご報告致し、その際に軽微な症状に対する修理が可能と判断させて頂いた場合は、お見積り金額も提示させて頂きます。尚、点検は無料にて行っております。
点検対象商品を当社からエンドユーザー様へお送りする際の費用はエンドユーザー様ご負担でお願い致します。
尚、廃棄物処理は受け付けておりませんので、当社へお送りして頂いた商品は必ずご返送させて頂きます。

また代替機の貸し出しは一切行っておりませんので、予めご了承ください。

3. その他ご不明な点に付きましてはお問合せください。

合同会社エレックスシステム

TEL : 045-317-9873

FAX : 050-3156-3747

e-mail : info@elexsystem.co.jp

修理のご依頼や保証期間内のご返送先は、
保証書・納品書に"記載してる住所ではありません。"
ご依頼・保証ご請求の際はメール・お電話にてお問合せ
ください。別途ご案内致します。

Copyright © ELEX SYSTEM. All Right Reserved.